



Graduate School of Human and Environmental Studies / Faculty of Integrated Human Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究することを目指している大学院人間・環境学研究科<通称「人環」(じんかん)>では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。世界の研究者や学生との交流が日常的になり、「国際交流」という言葉自体が意味を持たなくなっている

と言ってもよいかもしれません。このリーフレットでは、そのような人環の国際交流の一部をご紹介します。人環で世界と繋がって下さい。



第4回国際交流セミナー (2頁参照)

外国人研究員 (客員教授・助教授)

・次頁 (2頁) で詳しくご紹介していますのでそちらをご覧ください。

外国人招聘学者 [() 内は国籍/所属]

- ・李劍越博士 (中国/武漢科学技術大学助教授)
- ・Dr. Per Arne Rikvoid (米国/フロリダ州立大学教授)
- ・Dr. Drago Unuk (スロベニア/マリボル大学助教授)
- ・楊永年博士 (台湾/中央警察大学教授)

外国人共同研究者 [() 内は国籍/所属]

- ・Dr. Mai-Lan Laurence Kranits (フランス/イギリス国立エジンバラ植物園・ポスドク研究員)
- ・Dr. Roberto Terrosi (イタリア/ローマ第二大学トル・ベルガータ・ポスドク研究員)
- ・Dr. Vladimir Abramovich Fialkov (ロシア/ロシア科学アカデミー・シベリア支部イルクーツク科学センター・バイカル博物館長)
- ・Dr. Vlentín Vlerianovich Dryukker (ロシア/ロシア科学アカデミー・シベリア支部陸水研究所水圏微生物学室主任研究員)

また、本研究科からは多くの研究者が学会参加や共同研究のため海外に出掛けており、その数は平成11年度から17年度にかけて延べ約500名にのぼりました。

研究者の交流

毎年多数の外国人研究員 (客員教授・助教授)、外国人共同研究者、外国人招聘学者などが本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などを通して目覚ましい貢献をしています (表1参照)。17年度、海外から本研究科を訪れた研究者は次の通りです。

平成年度	11	12	13	14	15	16	17
外国人研究員 (客員教授・助教授)	3	6	6	3	4	6	8
外国人招聘学者	1	1	1	2	5	2	4
外国人共同研究者	2	0	3	5	1	1	4

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・助教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方のご講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。懇親会ではワインを楽しみながら大いに話しが弾みます。以下、これまで実施された国際交流セミナーを簡単にご紹介しましょう。

第一回 2004年12月15日

演者 楊永年博士

台湾中央警察大学教授

演題 Taiwan-China Relationship



第二回 2005年4月12日

演者 Professor John Rakovan (下写真左)

Miami University, U.S.A.

演題 Apatite: A Mineral of Geological, Biological, Environmental and Materials Importance



演者 Professor. em. Dr. Klaus Held (上写真右)
Bergische Universität Wuppertal, Germany
演題 Die Philosophie und die Zukunft des Menschen

第三回 2005年8月29日

演者 Professor Xu Chao-Jiang

Université de Rouan, France

演題 Systeme d'éducation de mathématiques en France et en Chine



第四回 2005年10月25日

演者 Professor Max Deeg (下写真左)

Institut für Systematische Theologie, Universität Wien, Austria

演題 The Rhetoric of Antiquity: Ploitico-religions Propaganda in the Nestorian Stele of Xi'an



演者 Professor Omar H. Khaleefa (上写真右)
University of Khartoum, Sudan

演題 Environmental Sensitivity of Sudanese and Japanese Psychologists in Adapting Intelligence Tests (WISC-III)"

第五回 2006年1月20日

演者 Professor Dr. Szimion Gregor Paul (下写真左)
Universität Karlsruhe, Germany

演題 Von der Zeitlosigkeit und Unangreifbarkeit des Schönen. Anmerkungen aus komparativer Sicht.



演者 林海博士 (上写真右)
中華人民共和国 大連輕工業大学教授

演題 Rare-earth Optical and Luminescence Materials



学生の交流

本研究科では多くの外国人学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに京都大学全体では1,244人（2005年5月1日現在）の留学生在学していますが、そのうち110名が本研究科で学んでいます（表2、3参照）。これは、人環の在學生（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別研究生を含む）約650名のうち約17%を占めています。

平成3年4月の開学以来、41人の外国人学生が学位を取得しました。

表2 留学生受け入れ数

（各年度5月1日現在、17年度は10月25日現在）

年度	留学生数
平成11年	69人
平成12年	72人
平成13年	85人
平成14年	90人
平成15年	102人
平成16年	106人
平成17年	110人

表3 留学生出身地

（平成17年10月25日現在、数字は人数）

中国	50	韓国	15
台湾	12	イスラエル	4
米国	3	ルーマニア	3
トルコ	3	ブルガリア	2
フランス	2	ハンガリー	2
英国	2	アルゼンチン	1
ベルギー	1	オーストラリア	1
ブラジル	1	コロンビア	1
ロシア	1	エストニア	1
マレーシア	1	ポーランド	1
スペイン	1	ベトナム	1
シリア・アラブ	1		

計 110

留学生研修旅行

本研究科では毎年秋、留学生研修旅行を実施しています。留学生にとっては、一時（ひととき）、勉強のプレッシャーから解放されて日本文化に接したり他の留学生や教職員と交流できる良い機会です。留学生の皆さんはぜひ申し込んで下さい（詳細は10月初めに発表予定）。

これまでに訪れた場所は次の通りです（1999年－2001年は日帰りバス旅行、2002年以降は一泊旅行）。

- 1999年11月 姫路城、兵庫県立歴史博物館
- 2000年11月 伊賀上野、柳生
- 2001年11月 淡路島、須磨
- 2002年11月 飛騨、高山
- 2003年11月 加賀、金沢
- 2004年11月 天橋立、城崎
- 2005年10月 高野山
- 2006年11月 広島、安芸の宮島（予定）

2005年高野山への研修旅行の写真から



雨の奥の院



高野学講義



宿坊で精進料理



宿坊前で記念撮影



壇上加藍で



橋本駅にて

海外留学など

本研究科の学生が海外留学をする場合、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいた派遣制度を利用して留学する派遣留学（実績については以下を参照）、派遣制度を利用しない一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、そして語学留学などさまざまな形態が考えられます。関心のある人は、早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考のこと）。

また、留学以外にも、フィールド調査や学会出席のために、毎年数十人の日本人学生が本研究科から海外へ出掛けています。



フランスUniversité de Strasbourg II / Université Marc Bloch哲学科修士課程2年生に在籍中の中田浩司さん（ストラスブールのカテドラルを背景に）



英国Centre for Translation and Comparative Cultural Studies, University of Warwickの修士課程に留学中の斎藤知里さん（右から2番目、Cardiffという街のウェールズ料理レストランでイタリア人の友人と）

平成17年度および18年度人環からの派遣留学の実績（ ）内は留学時点の学年

平成17年度

- フランス／グルノーブル大学（博1）
- フランス／マルク・ブロック大学（修1）
- フランス／マルク・ブロック大学（修2）
- フランス／マルク・ブロック大学（修2）

平成18年度

- ドイツ／ハイデルベルグ大学（博1）
- フランス／マルク・ブロック大学（修1）
- カナダ／マギル大学（修1）

京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部

「国際交流推進後援会」

人環／総人に在籍する留学生および外国人研究者に対する援助、支援を行うと同時に、その他の国際交流活動を推進するための財政的基盤を確立するため、2005年1月1日付けにて「京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部国際交流推進後援会」が設立されました。この後援会は、本研究科の教職員に限らず、その趣旨にご賛同頂ける方ならどなたでも加入して頂けます（一口2000円）。詳しくは、人環大学院掛窓口までお問い合わせ下さい。

京都大学留学フェア

毎年11月、京都大学留学生課と国際交流センターが中心となって、「京都大学留学フェア」が開催されます。この「留学フェア」には各国の大使館や領事館の職員をはじめ、留学関係団体の人々がさまざまな国への留学情報を提供してくれますので、留学をしようと思う人はぜひ参加して下さい。



問い合わせ先：

◇京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952（担当：浜田）
Email: mamihamada@030205.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

◇国際交流委員／留学生担当講師 藤田糸子

Phone: 075-753-6868
Email: itokofujita@hes.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

